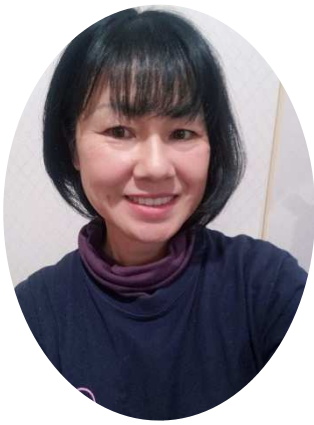


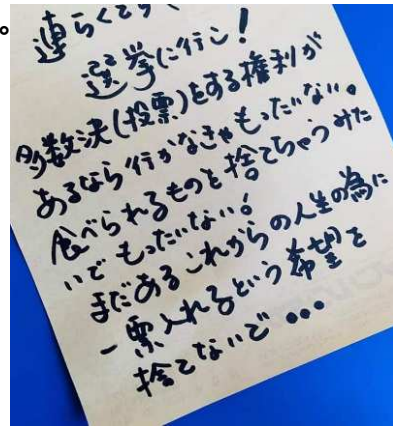


市民派・チームみらい  
古川明美

事務所 鷺沼三ツ池町 2-1-5  
電話 090-7953-5670  
FAX 058-377-3751



2021年は 知事選挙、市議会議員選挙、市長選挙、衆議院選挙と4つの選挙がありました。政治に文句があるなら投票に行きましょう。投票しなければ、お任せしたことになりまよ。選挙はチャンス!政治は希望!  
お金持ちの人にも、今日の暮らしが厳しい人にも平等にある一票です。大切にしてくださいね。主権者は国民(市民)です。  
一貫し伝えてきたメッセージは、まだまだ市民に届いていないと感じる選挙結果でした。でも、私の周りのお母さんたちの意識はどんどん変わっています(行動の表れです →)そして、子どもたち(未来の有権者)は、大人の背中を見えています。(これも希望)政治は希望、きっと「最後に愛は勝つ♪」と信じてこれからも頑張ります。



### 5歳~11歳新型コロナワクチン接種費用について質疑&反対討論!



小児における新型コロナウイルス感染症は無症状や軽症であることが多く、死亡した例はない。(厚生労働省報告)  
小児に、このワクチンは本当に必要なのか? この疑問に対して、杉山議員と二人で徹底的に調べ質疑、反対討論!  
●これまでと製剤が違う「リン酸緩衝生理食塩水の代わりに トロメタミン緩衝液を使用し、塩化ナトリウムと塩化カリウムを除外」  
●新型コロナワクチン接種後の副反応被害、死亡者の報告は 過去のワクチン接種被害を大きく上回る数字。(厚生労働省報告)  
●ワクチン接種後の有害事象については、因果関係が認められず補償を受けることができないケースが全体の99%。  
●厚生労働省感染対策分科会は「全ての希望者がワクチン接種を終えたとしても、集団免疫の獲得は困難」と言及。  
●ワクチン接種者からもウイルス検出。当初期待していた効果と実状に開きが出ている。  
ウイルスにより子どもが重症化することが極めて稀である点や、未知の副反応が存在し得る点に留意しワクチンのリスクとベネフィットを考えるとリスクが高いと判断。安全性が確認できないワクチンは、重症化リスクを抱えた子どもに対しても危険と考える。



### 不登校児童生徒の教育機会の確保と 公平な評価、評定について



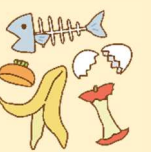
今回は、学校に行かない選択をしている児童生徒、その保護者の声を聞きながら質問を考えてきました。  
当日傍聴に来てくれた小学生と中学生は、答弁や議場の野次には心を痛め、泣いていたと後から聞きました。  
いじめが無くなる理由がよくわかったと思います。  
大人の背中を子どもたちは真っすぐな目で見ています。恥ずかしくない背中を見せていきたいです。  
●質問:進路への不安を抱える方が少しでも安心できるよう、どうしたら一定の評価、評定を得ることが出来るのか。『分かりやすいガイドライン』を事前に示す考えは。  
★答弁:一人一人の状況を診断的・形成的・総括的に評価することが必要なので、ガイドラインは示しません。  
●質問:来年できる「さくら前宮」が需要のない施設とならないためにも、何より子どもたちの思いを聞き共に考える。岐阜市の草潤中学のように、当事者と共に創っていく大人の姿勢があるかどうか問われています。当事者である児童生徒と市長や教育長との意見交換会はできますか。  
★答弁:担当の職員が聞いていきます。  
※さくら前宮→学校に行きづらさを感じ引きこもり傾向を示している児童生徒が、家を出て過ごす場として開室。  
※「教育機会確保法」学校以外の学びの場を選択する自由も保障されることが法律で決定。しかし、本市の不登校対策事業の目的には、教育機会の確保が示されていない。



### 生ごみ減量化対策



ライフワークとして市民の皆さんと取り組んでいる生ごみの堆肥化。その取り組みは、希望です。少しでも共に歩みたい。その思いを込めての質問と提案をしました。  
●質問:岐阜市も関市も コンポストなど堆肥化への費用は補助しています。補助利用者をみれば普及率を図ることができます。生ごみの堆肥化の推進、その効果、普及率を図る検証をどう取り組むのか。  
★答弁:生ごみのたい肥化は、無理なく取り組んでいただきたい。啓発は努めますが効果や普及率は検証しません。  
●質問:給食センターと各自校給食の残量を調査した結果、半年で約29トンありました。北清掃センターで処理されています。給食の残渣を肥料に堆肥化するコンポストに取り組み「土へ還す」この循環の仕組みが整えば、土中環境も良くなり、生ごみも減り、野菜の栄養価や安全性も高まり、人間の免疫もアップ。一石何丁にもなり、まさに SDGs。給食から発生する残渣(廃棄物)の3R 促進に取り組んではどうか。  
★答弁:地域の農家の申し出により、給食センターと小学校一校におきまして副菜の残渣を引き渡し実施しています。



すでに実施中の取り組みが広がるといいですね。  
※EM 菌でボカシを作り、生ごみを堆肥化。菌ちゃん野菜に挑戦!一緒にやりませんか?ここから動画みてね! →

